

\$\$\$  
ベルリオースの芸術と半生

110219

≡ Program ≡

19世紀中葉、フランス・ロマン派、ベルリオースはベートーヴェンやウェーバーなどの作品に見られる劇的音楽をさらに発展させ、西洋音楽史に燦然と輝く、「標題音楽」の独自のジャンルを築きました。楽曲に鮮やかに展開する情景描写効果など、オリジナルな表現方法は優れた作品を残しました。また、作曲も自由な発想で創作し、交響曲においても、表現上必要と判断されれば、器楽の独奏を付加したり、宗教音楽においては、劇的効果を求めて、極めて大編成の演奏形態をも展開しました。本日は、作曲家、ベルリオースの半生を見つめながら、秀逸の作品をご鑑賞ください。

~~ ㄐㄐㄐ ~~

エクトル・ベルリオース 《1803~1869》

■ 幻想交響曲 op14 (抜粋) 第1楽章・第4・5楽章

サー・ゲオルク・シオルティ指揮 演奏時間 約32分  
シカゴ交響楽団 1972年 5月収録

■ 4部の劇的物語 ファウストの劫罰 op24 から

第4部 第15場 ロマンズ(アリア) 同 16場 自然への祈り(アリア)

スーザン・グラハム(メゾ・ソプラノ) ジュゼッペ・サバティエーニ(テノール)  
小沢 征爾 指揮  
サイトウ・キネン・オーケストラ 演奏時間 約 15分  
1999年 9月3日 松本文化会館大ホールにおける Live (中川氏コレクション)

~~ < 休憩 > ~~

■ 死者のための大ミサ曲 op5 (レクイエム) (抜粋)

第1曲 レクイエムとキリエ、第6曲 涙の日  
第9曲 サンクトゥス、第10曲 アニウス・デイ

トマス・モーザー(テノール)  
チェコスロバキア放送合唱団・ハンガリー放送合唱団  
ブラハ・フィルハーモニー合唱団  
ジオルジュ・プレートル指揮  
チェコフィルハーモニー管弦楽団 演奏時間 約 43分  
1989年8月7日 ザルツブルク フェルゼンライトシューレにおける Live  
(中川氏コレクション)

■ なお、終演は午後4時15分を予定しております。

- 参考文献 新西洋音楽史(下) D.J. グラウト 音楽之友社 1995年6月発行  
西洋音楽史体系 石井 宏 学習研究社 2002年5月発行  
ベルリオース 音楽之友社 音楽之友社 1982年2月発行  
ベルリオース回想録 丹治恆次郎訳 白水社 1981年9月発行